



# わくわく～くちば

2022.10.15

ワーカーズ・コレクティブ (W.Co) とは・・・

地域の課題を拾い、同じ目的を持った仲間と事業を興しています。仲間全員で出資し・運営し・労働も担う、「誰にも雇われない働き方」です。無理なく働けるように皆で話し合い、決めたことには責任を持ちます。働くことを通じて地域課題の解決と社会的・経済的・精神的自立をめざします。

## 『はじめ』 ～班から個別配送へ～



1992年、東葛北ブロック(現柏ブロック)では、地域の困り事を生活クラブというステージで対応しようと、組合員がたすけあいのグループ「わーかーず・あい」を設立、個別配送という仕組みがない当時、配送ワーカーズの先駆けとなりました。たすけあい部門・惣菜部門と切り離れた後、2004年に「企業組合わーかーず・あい」として法人格を取得し、個別配送が柏センターから開始されました。2009年には東葛ブロック(現松戸ブロック)で「企業組合ワーカーズ・コレクティブみらい」が設立され、2010年には「企業組合ワーカーズ・結」が設立。京葉ブロック(現千葉・ベイブロック)、下総ブロック(現佐倉ブロック)、上総ブロック(現市原ブロック)で開始されました。現在、千葉県内全てのセンターから個別配送がなされ、主にセンター周辺のエリアを配送ワーカーズが担っています。

## 配送ワーカーズが目指すもの 共同購入活動へ意見を届ける

配送ワーカーズは、センター周辺のエリアを配達し、それ以外のエリアは職員が配達しています。ワーカーズは、主婦が多いので「〇〇だといのに！」「困ったな」など、使用する側と同じ目線や価値観で組合員に寄り添います。そして自身も感じる意見や疑問として、組合員の声を生活クラブへ意見として届けています。



## 社会の変化とともに～

個別配送の需要が伸びた反面、組合員同士の繋がりが薄くなりました。近年のコロナの感染症の影響でさらに閉塞感がひろがっています。そうした中で「自治と協同」に基づいた人との繋がりを築いてきたのがワーカーズです。

配送ワーカーズは、エッセンシャルワーカーであると同時に組合員コミュニティのハブとしての役割を担っています。



## 何故 組合員が配送を担うの？

組合員主権の自主運営・自主管理で共同購入運動の課題解決を図るため 2008年、組合員の労働参加として全ブロックで配送ワーカーズを設立していくことが生活クラブ千葉で方針化されました。

ワーカーズ・コレクティブは“他人まかせにしない”“暮らしを自治する”という生活クラブ運動を「働く」を通じて実践しています。「雇われている働き方ではない」ので、各人が無理なく働けるよう何度も話し合い、働きやすくなるよう整え、決めたことには皆で責任を持つ参加型組織です。主体的な人に優しい働き方だから働き続けられます。

## 『これから』

### ～組合員と一緒に解決に向かうべきは何？～

配送ワーカーズは、組合員と直接つながることのできるワーク(=運動)であるからこそ、共感する仲間を増やし、「地域の何を解決すべきなのか？」「そのためには何をすべきか？」組合員と一緒に考えていきたいと思っています。

(文責: 配送ワーカーズ結・五十嵐紀子)